



宗教法人 在日本南フレスビテリアンミッション
淀川キリスト教病院
Yodogawa Christian Hospital

ご自由にお持ち帰りください

特集 腫瘍内科

- 医療なんでもQ&A／甲状腺外科外来
- よどきり健康メモ／腸内環境を調べてみませんか？
- 簡単＆ヘルシーレシピ／ズッキーニ入り冷しゃぶサラダ
- 登録医紹介／のぞみハートクリニック
- ろうけん便り／通所リハビリにおける栄養管理強化の取り組み



理念

全人医療

淀川キリスト教病院の全人医療とは、からだと こころと たましいが一体である人間(全人)にキリストの愛をもって仕える医療です

特集

腫瘍内科

治療効果だけでなく、
生活にも配慮した
がん薬物療法

抗がん剤という言葉は知つていても、実際どのような治療を行つてゐるのか、イメージしにくい方も多いのではないかでしょうか。今回は腫瘍内科の取り組みについて、重岡靖主任部長にお話をうかがいました。

多様な抗がん剤とその特性

腫瘍内科は、がんに対する薬物療法を専門的に行う診療科です。いわゆる抗がん剤による治療ということになりますが、現在は様々な種類の薬剤があります。昔ながらの一般的にイメージされる抗がん剤は細胞障害性抗がん剤と呼ばれ、がん細胞を攻撃する薬です。現在も治療の中心として使われています。2000年前後から登場した分子標的薬は、がんが増殖する仕組みに関

通りの生活を行いながら治療できるのが最善であるため、なるべく入院せず、通院で治療できるように工夫しています。外科で中心静脈ポートを埋め込んでもらい、インフューズポンプという器具を使って自宅で3日間の点滴治療を行う場合もあります。

がん治療の舵取り役を担う

これらの薬は、がん治療の様々なタイミングで用いられます。手術前後の薬物療法で完治の可能性を高められることも多いです。また、乳房温存率を上げるために乳がんの術前薬物療法を行ふことも一般的になっています。完治が望めない状況であっても、痛みなどの、がんによる辛い症状を抑える薬と一緒に使いながら、抗がん剤による治療を続けていきます。がんが小さくなれば体調が改善することが多く、抗がん剤により生活の質が高まることが多いのです。このように、がんとうまく付き合うための治療も行っています。

患者さんの状態を常に把握しながら、その時々で必要な治療を提案するのが私たちの役割です。薬だけで、がんによる痛みを取り除けない時には、痛みのある部位に放射線治療を行つたり、ペインクリニックの外

しいと考えています。患者さんは日常生活を犠牲にしてでも頑張つてしまいがちで、診察室では気後れして、「治療が辛い」と言えないこともあります。実際、診察室でお子さんが「そこまで無理しなくていいんじやない」と考

す。主役は患者さんですから、ご本人と相談しながら負担がかかり過ぎないように注意しつつ、どこまで治療を続けるか決めていきます。その時に医師と患者さん二人だけではなく、家族や親しい人がいらつしやれば同席してもらい、一緒に話し合うことが望ま

治療を行う期間が数年にわたることもあります。完治が見込めない場合は、さらに長期間になることが考えられます。そこで重要なのが、薬の効果と身体の負担のバランスです。身体の負担が大きくて今まで通りの生活ができるのであれば、あまり強く治療をお勧めしない方が良い時もあります。

来て処置したりすることもあります。かんの治療には、多くの診療科が関わります。必要な時に必要な診療科の力を借りて治療を受けていただく、その舵取りを腫瘍内科や外来化学療法センターのスタッフが行っています。

的薬も登場してきたことで、辛い思いをする治療という以前のイメージとは変わってきたと思います。前立腺がんや乳がんなど、ホルモンを利用して増殖するがんに対しては、ホルモンの分泌や働きを抑える内分泌

わる分子(タンパク質など)に作用する薬です。細胞障害性抗がん剤が骨髄など正常な組織にも作用しやすいのに対し、分子標的薬では個々の薬剤で違いはありますが、がんの増殖を防ぐことが主体です。細胞障害性抗がん剤の副作用を和らげる治療が発達してきましたし、副作用が比較的少ない分子標的薬も登場してきています。辛い思いをする内薬も登場してきています。

A photograph of a male pharmacist in a white coat and glasses, smiling as he works on a computer. He is seated at a desk, facing a woman whose back is to the camera. The computer screen shows a software interface with Japanese text and tables. The background includes shelves with pharmaceutical products.

腫瘍内科 主任部長

重岡 靖
Yasushi Shigeoka

Yasushi Shigeoka



※当院を受診の際は、かかりつけ医を通じて「院地域医療連携センター」でご予約をお取りください。

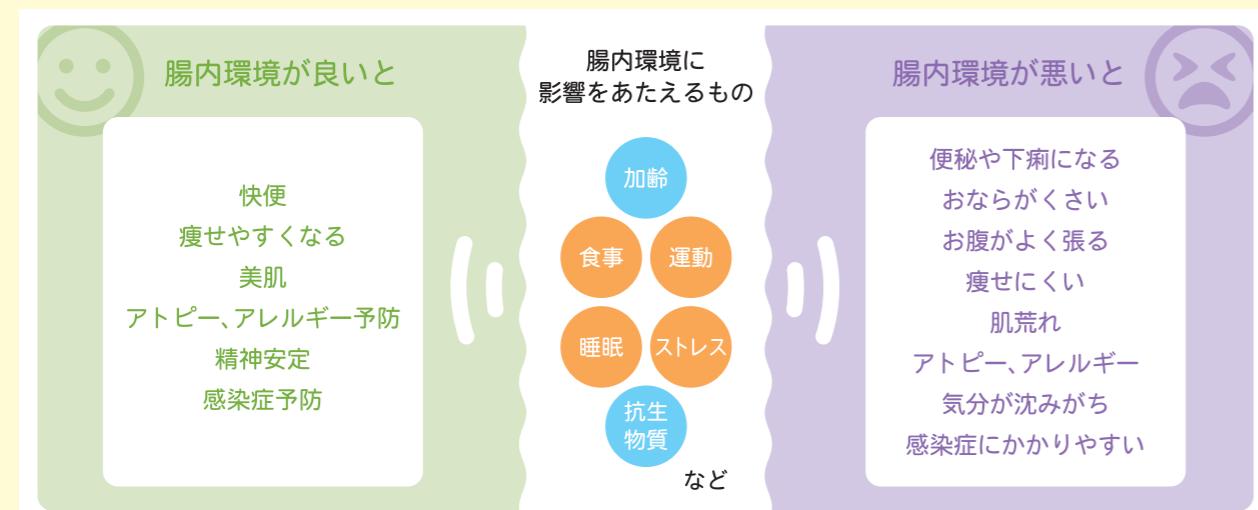
いの?」と意見して、患者さん自身がハツと
気づくような場面も見受けられます。

よどきり健康メモ ➤ 腸内環境を調べてみませんか？

■腸内細菌は「もうひとつの臓器」！？

私たちの体は約37兆個の細胞からできていますが、腸内には100兆個以上の細菌が棲んでいます。なんと自分の体重の1.5kg分は腸内細菌の重さなのです！人の腸は、広げるとテニスコート1面分の広さに相当します。その表面上に1,000種類以上の細菌が群れをして生息している様子を、カラフルなお花畠に例え、「腸内フローラ（細菌叢）」と呼ぶこともあります。腸内細菌には「1つの臓器」に匹敵するほどの働きと影響力があり、私たちの心と体の健康を支えています。

■「病気予防」「健康長寿」の鍵は腸内環境にあります！？



腸内細菌に関する研究は日々進んでいて、大腸がんや大腸ポリープなど腸に関わる病気だけではなく、糖尿病やアレルギー疾患、感染症や自己免疫疾患など、様々な全身の疾患との関わりも分かってきています。特に、一部腸内細菌が産生する「短鎖脂肪酸」は、腸内を酸性に保ち、有害な菌の増殖を抑制したり、肥満予防や腸の炎症予防、免疫機能の調整など、様々な健康効果があることで注目されています。日頃から腸内フローラのバランスを整え、良い腸内環境を保つことで、病気の予防・健康長寿につながることが期待されています。

オプション検査

※ドック・健診をご受診の際に追加することができる検査です。
単独では実施しておりません。

腸内フローラ検査

~~19,800円(税込)~~ → 16,500円(税込)

2023年3月末までの
キャンペーン価格

腸内フローラ検査で分かること

ビフィズス菌 乳酸産生菌 酪酸産生菌 エクオール産生菌

ご予約
お問い合わせ

06-6324-6530 (健康管理増進センター)

電話受付時間 月～金曜日 8:30～17:00／土曜日(第2・第4) 8:30～12:00



そこが知りたい！ 医療なんでも Q&A

甲状腺外科外来

Q: どのような病気・症状を診る外来ですか？

A: 甲状腺は喉仮の下にある蝶のような形をした臓器で、代謝に関わるホルモン（甲状腺ホルモン）を分泌しています。甲状腺の病気には、ホルモンの分泌に異常をきたす内科的な病気（代表的なものとしてバセドウ病や橋本病）と、構造に異常をきたした外科的な病気（良性腫瘍や悪性腫瘍である甲状腺がん）があります。外科的な病気はもちろんですが、内科的な疾患に対しても手術の適応があります。また副甲状腺という、血中のカルシウム値の調整を行っている臓器に対しても手術を行うことがあります。

Q: どのような治療・手術を行っていますか？

A: 甲状腺、副甲状腺いずれに対しても手術による切除を行います。甲状腺悪性腫瘍に対しては、進行度を見極め、可能な限り切除範囲を小さくし、患者さんの負担を減らすよう努めています。バセドウ病や良性結節の手術に関しては、手術後に少しでも内服薬を少なくできるような手術を提供する自信があります。ホルモンを分泌する臓器を切除してしまうということに怖さがあるかもしれません。しかし、甲状腺ホルモンを適切に内服していただければ、成長や妊娠、出産には影響なく、薬の副作用が出ることもほとんどありません。

患者さんへのメッセージ

甲状腺外科外来を担当している医師は、二人とも神戸の隈病院（90年の歴史をもつ甲状腺疾患の専門病院）で研修を受け、5年間で約1,500人の方々の執刀を行ってきました。たとえ手術が必要になったとしても、手術前後の気になることがあれば気軽にご相談ください。

担当医師

耳鼻科・小児耳鼻科 医長

金村 信明 写真左

Nobuaki Kanemura

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会
耳鼻咽喉科専門医・指導医
補聴器適合判定医

耳鼻科・小児耳鼻科 医長

山本 正利 写真右

Masatoshi Yamamoto

日本外科学会外科専門医
日本内科学会内分泌外科学会専門医



甲状腺外科外来

外来受付時間 毎週 水・金曜日 ※祝日・休診日は除く

受診には紹介状が必要です。地域の医療機関を通して、当院地域医療連携センターでご予約ください。



登録医紹介

淀川キリスト教病院は、かかりつけ医と連携しながら診療を行う「地域医療支援病院」です。

のぞみハートクリニック

ホームページ <https://nozomi-heartclinic.com/>

診療科目／内科、循環器内科、呼吸器内科

のぞみハートクリニックは、新大阪駅から徒歩4分という好立地にあり、地域の皆さんをはじめオフィスで働く方々の健康を担っています。

一開院されたきっかけを教えてください。

大阪の病院で内科・循環器専門医として循環器疾患を持つ患者さんを診療・指導する中で、病院内で一生懸命に指導をしても、十分かつ長期的な予防ができないという現実に直面しました。そのため、より生活の場である地域に自分の身において医療を行う必要性を感じ、地域の皆さんの健康管理に貢献していくために、2018(平成30)年5月に開院しました。

一外来診療のほかに在宅訪問診療も行っています。

はい。当院では、風邪、高血圧症、脂質異常症、糖尿病、高尿酸血症などの総合内科の診療から、狭心症や不整脈、心不全の管理・治療を行うと同時に、通院困難な方への在宅訪問診療を行っています。特に在宅訪問診療では「依頼を受けた患者は断らない」をモットーに、地域と総合病院の医療介護職の方々と連携を取りながら、医師、看護師、臨床検査技師、理学療法士、言語聴覚士、ソーシャルワーカーと、多職種チームで包括的な医療を目指しています。

一メッセージをお願いします。

地域のかかりつけ医として、患者さんやそのご家族のライフスタイルに合わせた医療をご提供します。ご相談だけでも結構ですので、お気軽に問い合わせください。



おかだ けんいちろう
岡田 健一郎 院長

趣味・特技

音楽鑑賞・映画鑑賞



〒532-0003
大阪市淀川区宮原3-5-36
新大阪トラストタワー1F
TEL.06-6397-8010

アクセス：
Osaka Metro御堂筋線
新大阪駅4番出口より徒歩4分

Information

発熱や咽頭痛などの風邪症状のある方の受診および敷地内でのマスク着用について(2022年6月現在)



淀川キリスト教病院では、発熱や咽頭痛などの風邪症状を伴う患者さんの受診については、本来の診療科の受診前に発熱外来を経由して新型コロナウイルス感染症のPCR検査を受けていただきます。

発熱を伴わない風邪症状だけの場合でも新型コロナウイルス感染症の陽性となる患者さんは多いため、院内での感染管理を徹底する観点から当運用とさせていただいています。また、昨今、外出時におけるマスク着用に関し様々な見解が示されているところですが、当院敷地内では全ての方にマスク(不織布)の着用を併せてお願いいたします。

かうだにうれしい♪簡単&ヘルシーレシピ

ズッキーニ入り冷しゃぶサラダ

栄養管理課 田桑 裕子



材料 2人分

ズッキーニ…1本 豚肩ロース肉…180g トマト…1個
かいわれ大根…1パック 塩…少量
ドレッシング(好みのもの)…大さじ4

作り方

- ズッキーニは両端を切り落とし、厚さ2mm程度の輪切りにする。塩を振り10分ほどおいて水分をしぼる。
- トマトはざく切り、かいわれ大根は根元を切り落とす。
- 鍋に湯を沸かして豚肉をゆでる。火が通ったらザルにあげて冷ます。
- ズッキーニとトマトと豚肉を混ぜ合わせ皿に盛り、上からかいわれ大根を盛り付ける。
- 好みのドレッシングをかけてできあがり！



栄養価 1人分

エネルギー	331kcal	炭水化物	11.5g
たんぱく質	19.9g	食塩	1.8g
脂質	22.3g		

Cooking Memo

ズッキーニは全体の太さが均一で、皮にツヤがあるもの、切り口が新鮮なものを見ましょ。

チャプレン室だより

クリスチャンの詩人、八木重吉(1898~1927年)



八木重吉が29歳で召天したのがお茶の白い花が咲く10月頃。キリスト者として神と愛を信じ、希望の微光を見出そうとする詩を多く遺しました。

愛のことば

愛のことばを言おう
ふかくしてみにくきは
あさくしてうつくしきにおよばない
しだいに深くみちびいていただこう
まずひとつ愛のことばを言いきってみよう

『うつくしいもの 八木重吉 信仰詩集』
(日本キリスト教団出版局より)

私たちは毎日多くの言葉の渦の中で暮らしているのではないでしょうか。自分から発する言葉、人からかけられる言葉、本の中から飛び出してくる言葉。言葉はいつの時代でも善きにしろ、悪しきにしろ、力をもつのです。今、私たちはどのような時代を歩んでいるのでしょうか。いろいろな面で危機の時代ではないでしょうか。その問題と向き合うためには「言葉の杖」が必要です。八木重吉は「愛のことばを言おう」「愛のことばを言いきってみよう」と謳っています。希望の扉を開くような言葉の旅を続けたいのです。愛のことばで世界を満たしたなら、幸せの扉が開かれていく思いがします。人々の心が発する言葉が光となって世界を包んでいくからと願います。

ジャパンミッション宣教部 木村 一雄

「初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。」(日本聖書協会『聖書新共同訳聖書』ヨハネによる福音書1章1節)

通所リハビリにおける栄養管理強化の取り組み

高齢者は疾患や機能の衰えから低栄養になるリスクが高く、健康維持のためには予防の栄養管理が大切です。

老健では、今年度より管理栄養士が2人体制と増員になったため、通所利用者への介入を強化し、低栄養を予防する取り組みを開始しています。また、サービスの向上を目指し「食のイベント」の企画を行っています。

今年は老健の畠のスナップエンドウが豊作で大量に収穫できたため、「ソテー」や「卵とじ」「天ぷら」など数回試食会をしました。採れたての新鮮な野菜は本当に美味しく好評で、お代わりされる方もいらっしゃいました。そのほか、手作り柚子茶やたこやきパーティーなども企画。「美味しい楽しく食べる」ことが一番栄養管理に繋がると考えています。



スナップエンドウソテー



手作り柚子茶



たこやきパーティー

淀川キリスト教病院 老人保健施設

〒533-0032 大阪市東淀川区淡路2-1-41



電話:06-6815-8222(直通) FAX:06-6815-8188

ホームページ <https://www.ych.or.jp/group/rouken/>



電話番号のかけ間違いにご注意ください

電話番号のかけ間違いが増えています。

当院にご連絡いただく際は、電話番号をしっかりとご確認いただき、かけ間違いのないようご注意ください。

 **0120-364-489**

※時間帯によってはつながりにくいことがございます。何卒ご了承ください。

編集後記

今年は5月からすでに30度を超える日があるなど猛暑が続いている。暑いと食欲が落ちてしまうこともあります、誌面で紹介したズッキーニ入り冷しゃぶサラダなど食べやすい料理からしっかり栄養をとって今夏も元気に過ごせるといいですね。水分補給も忘れずに、熱中症に気を付けましょう。

★公式Facebookからもさまざまな情報を発信しています。みなさまからの「いいね！」をお待ちしております。



宗教法人 在日本南プレスビテリアンミッション

淀川キリスト教病院

Yodogawa Christian Hospital

全人医療

本誌についてのご意見をお待ちしています。「この記事がおもしろかった」「あの部署のことが知りたい」など、読者のみなさまの声を今後の誌面づくりの参考にしてまいります。ぜひご協力ください。淀川キリスト教病院 広報課 kouhou@ych.or.jp

〒533-0024 大阪市東淀川区柴島 1-7-50 ☎ 0120-364-489

『よどぎり便り』34号(2022年7月発行) 発行責任者／石田 武 編集責任者／藤原 寛

※広報誌の写真撮影については、撮影直前にマスクを外す等、細心の注意をはらって撮影を行っています。また一部写真については、過去に撮影した写真やご本人に提供をお願いした写真もございます。